

Editor's Note

皆様のご協力をいただき、『現代ディスクロージャー研究』第17号をお届けできることになりました。『現代ディスクロージャー研究』は、歴代の会長、理事、編集委員長、会員の皆様の多大なご尽力により、ディスクロージャー研究の領域では、日本において自他ともに認めるトップジャーナルの1つとなっています。これまでの編集委員長のご努力のうえに成り立っている本誌の品質を維持向上することを責務として、2018年4月から、編集委員長を務めさせていただいております。

本号においては、論文セッションに5本の投稿があり、厳正な審査の結果、2本が採択されました(次ページの編集データ参照)。

1本目の論文は、日本の製造業の技術競争力と会計利益の持続性の関係を、純営業資産利益率予想モデルに基づいて検証したものです。技術競争力が会計利益に与える効果を計量的に把握することを試みた結果、技術競争力と利益の持続性との間に正の相関関係が存在することを示しています。

2本目の論文は、業務純益を明示しない銀行の損益計算書の現行様式の妥当性を検証したものです。利益・簿価モデルに基づいて業務純益、経常損益、および当期純損益の価値関連性を比較した結果、業務純益の価値関連性は、経常損益や純損益のそれと比べて遜色ない水準にあるという証拠を提示しています。

字数制限を設けていない本誌の特徴を活かし、いずれの論文も、オリジナリティの高い研究テーマについて、様々な角度から丁寧な検証が行われており、査読委員から高い評価を得ております。今後も十分な紙幅をとって完成度の高い論文の掲載を継続する予定です。

最後になりましたが、査読をご快諾いただき、本誌の研究水準の向上に貢献していただいた査読委員の皆様にあらためて感謝いたします。

『現代ディスクロージャー研究』編集委員長
石川博行

編集データ

『現代ディスクロージャー研究』第17号の編集状況は、次のとおりである。全ての原稿は、編集委員会が採否を決定した。また、論文セッションの原稿は、複数の匿名査読委員によってレビューされている。

論文セッション

受付数	5
受理数（採択率）	2（40%）

編集委員会

謝 辞

査読委員による真摯なレビューによって、本誌の高い品質が確保されました。編集委員会は、ここに記して、第17号の査読委員の皆様へ感謝の意を表します。

石津 寿恵 明治大学
井手 健二 龍谷大学
榎本 正博 神戸大学
海老 原崇 武蔵大学
大鹿 智基 早稲田大学
太田 浩司 関西大学
音川 和久 神戸大学
加賀谷哲之 一橋大学
阪 智香 関西学院大学
矢澤 憲一 青山学院大学
(敬称略、五十音順)

編集委員会